

インド古典舞踊のタベ



サトウ雅子 カタックダンス

直原牧子 オディッシーダンス

北と東のインド古典舞踊の夢の饗宴

日時:10月4日金曜午後6時半開場 午後7時開演

場所:りゅーとぴあスタジオ A 入場料:3000円



カタック



オディッシー

問合せ:佐藤 090-2148-0152

サトウ雅子 [Satou Masako]プロフィール



北インド古典舞踊家。フラメンコを経て1995年インドへ。翌年にニューデリーの国立舞踊学校に入学。1997年よりインド人間国宝ビルジュー・ハマラージ師(故人)に直接師事。1999年～2004年に ICCR 奨学生として Kalashram で研鑽。2005年帰国。国内・海外公演多数。(2006年パキスタン、2010年中国上海、2016年師の北米ツアー一他)

千代田区麴町にて MIYABI カタックダンスアカデミーを主宰。東洋大学「インド舞踊」非常勤講師。2023年 ICCR Alumni Award 受賞。

<北インド古典舞踊 カタックダンス>

北インド・ウッタル・プラデーシュ州発祥の「カタックダンス」は、古代インドにて、「カタカ」と呼ばれる語り部たちがヒンドゥー神話や王族の系譜を伝え歩いたことを起源とする。ムガル時代になると「カタカ」達は宮廷に上がり、厳格なヒンドゥースターニー音楽に則って踊られる宮廷舞踊を形成した。舞踊手は、繰り返されるターラ(拍子)に合わせ、複雑なステップを軽快に刻み、サム(一拍目)でピタリと止まることを特徴とする。

ヒンドゥー神話を語り紡ぎ、優雅な上半身の動きと華やかな旋回、力強いステップを用いて全身で感情を表現する「カタックダンス」は、インド本国の他、世界各国で広く踊られている。

直原牧子 [Jikihara Makiko]プロフィール



東インド古典舞踊家。オディッシーを浜田さえこ氏から学び、1995年よりインド・デリーのガンダルバ学校にてマダヴィ・ムドゥガル氏に師事。2000年より日本各地で公演・イベントに出演。現在は沖縄で公演・イベントの企画や後進の指導に務める。沖縄インドフェス「ハイサイ! インディア」主宰。

<東インド古典舞踊 オディッシー>

東インド・オリッサ地方で誕生した古典舞踊オディッシーは、奉納舞として巫女や少年の踊り子から発展した。その魅力は「動く彫刻」と評されるように、寺院彫刻を彷彿させる甘美で崇高なポーズにある。身体を駆使して重心を一方に傾けたアシンメトリーな型も特徴であり、上半身の柔らかな動きと、技巧的でリズムカルなステップもその魅力に挙げられる。

抒情的で繊細な世界観をもつこの踊りは寺院から舞台へと移った現在でも、インドのみならず世界各国で広く伝承され、多彩に展開されている。

